

リ、圓莖高サ三五尺、葉ハ橢ニシテ細鋸齒アリ、互生ス、或ハ二三葉相對ス、六月以後莖頂ニ花ヲ開ク、肥タルモノハ葉間ゴトニ開ク、單瓣藍紫色ヲ常トス、ソノ品一ナラズ、形ニ單重千葉團扁ノ分アリ、色ニ深藍淺藍黃白間色ノ別アリ、重葉ナル者ニ紫二重白二重二重仙臺牡丹桔梗アリ、千葉ナル者ニ紫白アリ、扁ナル者ハ摺扇^{アテギ}桔梗ト呼ブ、深藍淺藍ノ二品アリ、並ニ千葉ニシテ形壓シ、扁メタルガ如ク、莖亦扁シ、黃ナルモノハ淺黃色、又カキイロト呼ブアリ、單瓣重瓣ノ二品アリ、間色ナル者ハ白花紫點仙臺桔梗ト呼ブ、又南京桔梗アリ、又單葉ニシテ筒ヲナサザルモノアリ、紋桔梗ト呼ブ、此數品皆花戸ノ重ズルトコロナリ、藥ニハ常品ヲ用テ良トス、

〔草木育種^下品〕桔梗^{草本} 花に碧色、白色ともに重瓣^{やま}あり、又絞あり、春の彼岸に種を蒔なり、根分は二月十月よし、冬は人糞、夏は魚洗汁澆てよし、

〔剪花翁傳^三六月開花〕桔梗 花一重、白色、青色二種、開花六月初より一番二番三番まで漸々剪て、後れ咲は十月にいたるなり、方日向、地二分濕、土えらばず、肥干翳をつよく入て、淡小便も度々灌ぐべし、分株春芽出のときすべし、且平莖なるあり、俗にひらぢくとて専ら好めり、

〔延喜式^{三十七}典藥〕諸國進年料雜藥

山城國卅二種^略○中 桔梗卅斤、大和國卅八種^略○中 桔梗廿一斤^略○下

〔江家次第^{七八}七月〕相撲召合

官人以上位袍、番長以下青袍懸緒^略○中 左插桔梗華、

〔出雲風土記^{神門郡}〕凡諸山野所在草木^略○中 桔梗、

〔拾遺和歌集^七物名〕きちかう

あだ人のまがきちかうな花うへそにほひもあへず折つくしけり

よみ人まらす

〔枕草子^三〕草の花は